Pioneer

DJミキサー

DJM-2000

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

http://www.prodjnet.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、お客様のお役に立てる最新のサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例 : [**MASTER**] チャンネル、[**ON/OFF**]、[**File**] メニュー)

01 安全上のご注意

警告 3
注意 3
設置場所について 4
製品のお手入れについて 4

02 はじめに

本機の特長 5
付属品を確認する 5

03 接続する

本体背面部 6
入力端子に接続する 7
出力端子に接続する 7
操作パネルに接続する 8
コンピュータを接続する 8
USB オーディオドライバソフトウェアについて 8

04 操作する

操作パネル 11
基本操作 12
応用操作 14
MIDI メッセージ一覧 17
BEAT EFFECTの種類 21

05 設定を変更する

設定項目一覧 23
オートスタンバイ機能について 23

06 その他

故障かな？と思ったら 24
液晶画面について 24
保証とアフターサービス 25
免責事項について 25
ブロックダイヤグラム 26
仕様 27

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

注意

設置

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法

ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

はじめに

本機の特長

本機は高音質設計に加え、DJ の新たな演奏スタイルを実現するマルチタッチパネルやさまざまなインターフェイスおよびエフェクト機能を搭載したプロ DJ 向けパフォーマンス DJ ミキサーです。

TOUCH PANEL EFFECT

5.8 インチの大型 LCD マルチタッチパネルを採用しています。エフェクト機能 ([**FREQUENCY MIX**] および [**SIDECHAIN REMIX**]) と組み合わせて使うと、エフェクトを視覚と聴覚で確認しながら直感的に操作できます。

❖ FREQUENCY MIX

楽曲の周波数を 7 つの帯域に分けてグラフィカルに表示します。タッチパネルのフェーダー操作によって、より詳細に分かりやすく 2 つのチャンネルをミックスしたり楽器 (パート) を入れ替えたりできます。

❖ SIDECHAIN REMIX

指定したチャンネルの音声をトリガーにして別のチャンネルの音声にエフェクトをかけることができます。タッチパネルのパッド操作によってダイナミックな音声の加工ができます。

INST FX

6 種類のエフェクトを搭載しています (**NOISE**, **ZIP**, **CRUSH**, **JET**, **HPF**, **LPF**)。各チャンネルの [**FILTER**] を回すだけでエフェクトが得られ即興的なパフォーマンスができます。また、[**PARAMETER**] を調整することで好みの効果を得ることができます。

BEAT EFFECT

DJM シリーズで好評な BEAT EFFECTを継承し進化させました。エフェクトを加える量を周波数帯域ごとに調整できる [**EFFECT FREQUENCY**] を搭載し、従来以上に自由度の高い演奏ができます。

PRO DJ LINK

PRO DJ LINK対応のパイオニア製 DJ プレーヤー (CDJ-2000、CDJ-900など)、rekordboxがインストールされているコンピュータ、および本機を LAN ケーブルを使って接続すると以下の PRO DJ LINK機能をお使いいただけます。
詳しくは、14ページの「PRO DJ LINKについて」をご覧ください。

❖ SD&USB Export

❖ rekordbox LINK Export

❖ LIVE SAMPLER

❖ LINK MONITOR

❖ STATUS INFORMATION

SOUND CARD

本機は「サウンドカード /USB オーディオインターフェイス」を搭載しています。1 台のコンピュータから最大 4 系統のオーディオを各チャンネルにアサインしミックスできます。また、マスターチャンネルの出力音声をコンピュータに出力できるので、ミックス後の録音などに非常に便利です。

HIGH SOUND QUALITY

デジタル /アナログの入力 /出力において、音質の改善・向上を図っています。96 kHz サンプリング、24 bit 高音質 A/D コンバーター、32 bit 高音質 D/A コンバーターによる音声処理によりパワフルで高品位な音を実現します。
USB オーディオは、48 kHz 16 bit、48 kHz 24 bit、44.1 kHz 16 bit に対応しています。

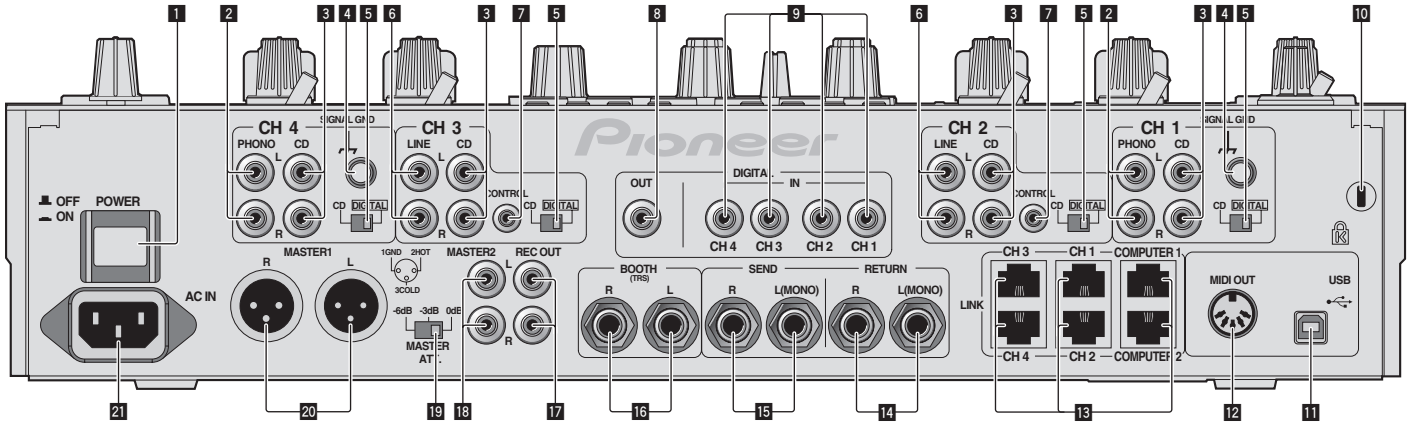
付属品を確認する

- CD-ROM
- USB ケーブル
- LAN ケーブル× 4
- 電源コード
- 保証書
- サービス窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）

接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

本体背面部



1 POWER (12ページ)
本機の電源をオン /オフします。

2 PHONO (7ページ)
フォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器と接続します。ラインレベルの信号を入力しないでください。

3 CD (7ページ)
DJ プレーヤーやラインレベルの出力機器と接続します。

4 SIGNAL GND (7ページ)
アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

5 CD, DIGITAL (12ページ)
アナログ信号入力端子 (**CD**) またはデジタル信号入力端子 (**DIGITAL IN**) を切り換えます。

6 LINE (7ページ)
カセットデッキやラインレベルの出力機器と接続します。

7 CONTROL (7ページ)
コントロールコード (パイオニア製 DJ プレーヤー付属品) を接続します。

8 DIGITAL OUT (7ページ)
マスターチャンネルの音声を出力します。

9 DIGITAL IN (7ページ)
DJ プレーヤーなどのデジタル同軸出力端子と接続します。出力信号のサンプリング周波数が切り換わったときに、音声が一瞬途切れることがあります。

10 ケンジントンロック装着用穴

11 USB (8ページ)
コンピュータと接続します。

12 MIDI OUT (7ページ)
外部 MIDI シーケンサーの MIDI IN 端子と接続します。

13 LINK (7ページ)
パイオニア製 DJ プレーヤーの LINK 端子、または rekordboxがインストールされているコンピュータの LAN 端子と接続します (PRO DJ LINK)。

14 RETURN (7ページ)
外部エフェクターの出力端子と接続します。[**L (MONO)**] だけに接続すると、[**L (MONO)**] に入力される音声が [**R**] にも入力されます。

15 SEND (7ページ)
外部エフェクターの入力端子と接続します。[**L (MONO)**] だけに接続すると、モノラル音声を出力します。

16 BOOTH (7ページ)
ブースモニター用出力端子です。TRS 端子のため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。

17 REC OUT (7ページ)
録音用出力端子です。

18 MASTER2 (7ページ)
パワーアンプなどを接続します。

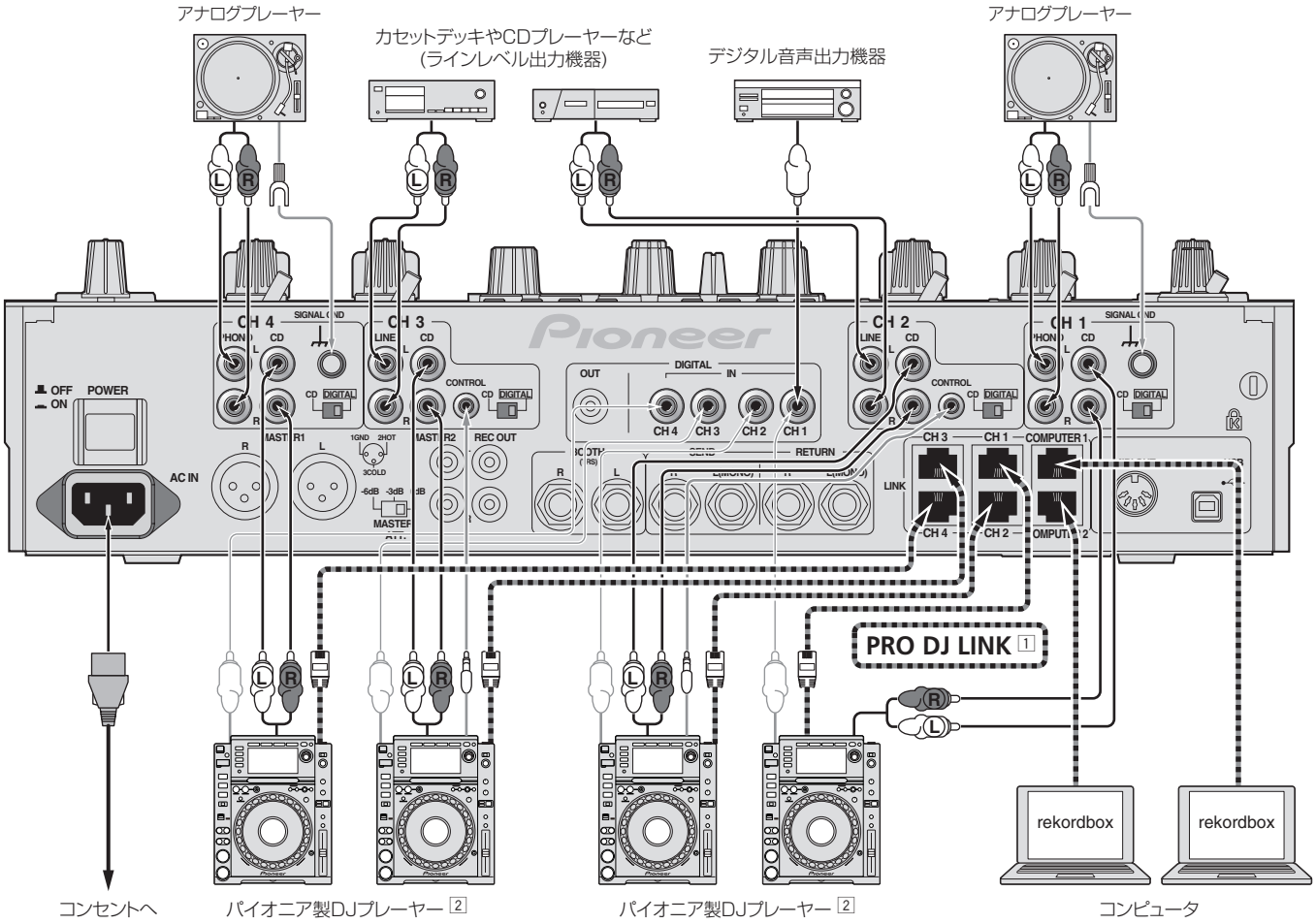
19 MASTER ATT.
[**MASTER1**] 端子および [**MASTER2**] 端子から出力する音声の減衰レベルを切り換えます。0 dB、－ 3 dB、－ 6 dB から選べます。

20 MASTER1 (7ページ)
パワーアンプなどを接続します。

21 AC IN
付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

⚠ 注意
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くに、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

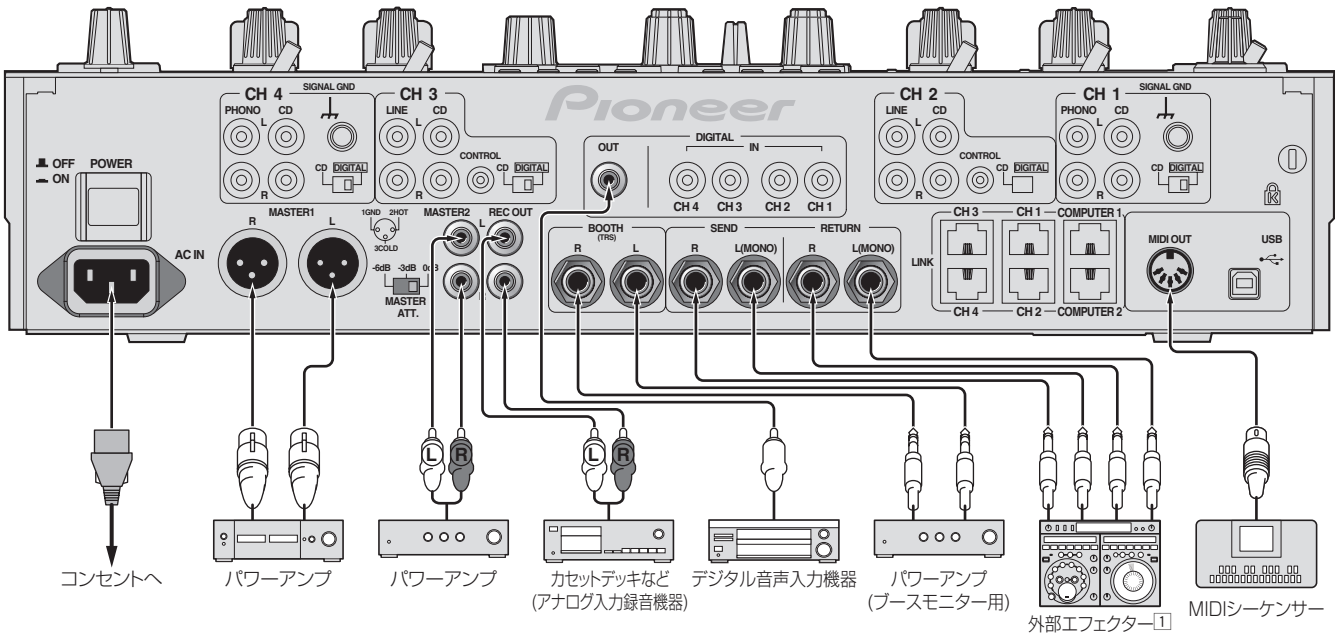
入力端子に接続する



1 PRO DJ LINKについては、14ページの「PRO DJ LINKについて」をご覧ください。
パイオニア製 DJ プレーヤーと接続するときは、付属の LAN ケーブルをお使いください。

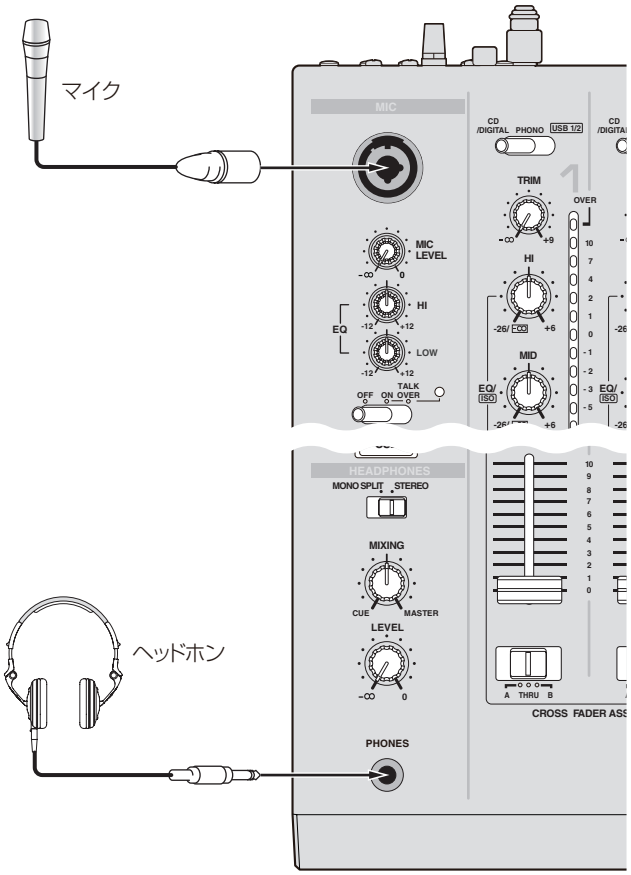
2 フェーダースタート機能を使うときは、LAN ケーブルまたはコントロールコードを接続します (13ページ)。

出力端子に接続する

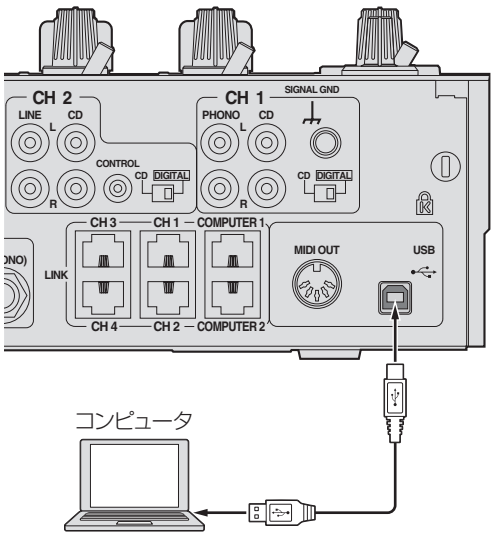


1 外部エフェクターは [**RETURN**] 端子 (入力端子) にも接続してください。

操作パネルに接続する



コンピュータを接続する



付属の USB ケーブルを使って接続します。

USB オーディオドライバソフトウェアについて

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を入力 /出力するための専用ドライバソフトウェアです。本機を Windowsまたは Mac OS がインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

(制限事項)

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(準拠法)

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

インストールについてのご注意

- ドライバソフトウェアをインストールする前に、本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめからインストールをやり直してください。
- 本機の専用ドライバソフトウェアをインストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをインストールする前に、コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアは以下の OS に対応しています。

対応 OS		
Mac OS X (10.3.9以降)		○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/ Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

Windows® XP Professional x64 edition には対応していません。

- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムが収録されています。
  英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
  その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [**English** (英語)] を選んでください。

ドライバソフトウェアをインストールする

❖ インストール手順 (Windows)

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROMをコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROMのフォルダが表示されます。

- CD-ROMを挿入しても CD-ROMのフォルダが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から CD ドライブを開いてください。

2 [DJM-2000_X.XXX.exe] をダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] をクリックする

お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れてから [OK] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**キャンセル**] をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windowsセキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
  インストールの途中で [**ハードウェアのインストール**] 画面が表示されることがありますが、[**続行**] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
- ドライバソフトウェアのインストールが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

❖ インストール手順 (Macintosh)

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者の「名前」と「パスワード」をあらかじめご用意ください。

1 付属の CD-ROMをコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROMのフォルダが表示されます。

- CD-ROMを挿入しても CD-ROMのフォルダが表示されないときは、デスクトップ上の CD アイコンをダブルクリックしてください。

2 [DJM-2000_M_X.X.X.dmg] をダブルクリックする

[**DJM-2000AudioDriver**] のメニュー画面が表示されます。

3 [DJM-2000AudioDriver.pkg] をダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

4 画面の内容を確認して [続行] をクリックする

5 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語] を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[続行] をクリックする

お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意します] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しません**] をクリックして、インストールを中止してください。

7 画面の指示に従ってインストールする

- インストールを途中で中止するときは [**キャンセル**] をクリックしてください。
- ドライバソフトウェアのインストールが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

本機とコンピュータを接続する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- ASIO 対応のアプリケーションを使うときは、[**USB 1/2**]、[**USB 3/4**]、[**USB 5/6**] および [**USB 7/8**] を入力として使えます。入力 /出力の設定によっては、本機の入力が 3 系統になります。
- DirectX 対応のアプリケーションを使うときは、[**USB 1/2**] だけ入力として使えます。
- DJ アプリケーションによってコンピュータの推奨動作環境が異なります。お使いの DJ アプリケーションの推奨動作環境を必ずご確認ください。
- 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピュータに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
  コンピュータと本機だけを接続することをおすすめします。
- コンピュータと接続するときは、本機の USB 端子に直接接続することをおすすめします。

2 [POWER] を押す

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたとき [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。
- Windows XP にインストールしているとき
  — インストールの途中で [**ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？**] と表示されることがあります。[**いいえ、今回は接続しません**] を選んで [**次へ**] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [**インストール方法を選んでください**] と表示されることがあります。[**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**] を選んで [**次へ**] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [Windowsセキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。

入力 /出力設定を切り換える

ドライバソフトウェアを使うときのコンピュータの入力 /出力設定を切り換えます。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション（DJ アプリケーションなど) が起動しているときは、アプリケーションを終了させてから入力 /出力設定を切り換えてください。
- 入力 /出力設定を切り換えたとき、コンピュータが更新されるまでにしばらく時間がかかります。コンピュータの更新中は入力 /出力設定を切り換えられません。
- 本機とコンピュータの入力 /出力設定に違いがあるとき、音声が出力されないことがあります。このときは本機の電源をオンにし USB ケーブルを接続した状態で再度設定してください。
- DirectX を使用中に入力 /出力設定を切り換えると、アプリケーションがドライバソフトウェアを認識しなくなることがあります。
- MIDI 通信中に入力 /出力設定を切り換えると、MIDI 通信が切断されます。

❖ 切り換え方法 (Windows)

Windowsの [スタート] メニュー >[すべてのプログラム] >[Pioneer]>[DJM-2000]>[DJM-2000 設定ユーティリティ] をクリックする

コンピュータの入力 /出力設定を切り換えます。

— ASIO 4 出力 0 入力 16bit DirectX 1 出力 0 入力
— ASIO 3 出力 1 入力 16bit DirectX 1 出力 1 入力
— ASIO 3 出力 0 入力 24bit DirectX 1 出力 0 入力

❖ 切り換え方法 (Macintosh)

[アップルメニュー]>[システム環境設定]>[その他]>[DJM-2000 設定] をクリックする

コンピュータの入力 /出力設定を切り換えます。

— 8ch 出力 入力なし 16 ビット
— 6ch 出力 2ch 入力 16 ビット
— 6ch 出力 入力なし 24 ビット

バッファサイズを調整する (Windows)

ASIO ドライバソフトウェアを使うときのコンピュータのバッファサイズを調整します。

Windowsの [スタート] メニュー >[すべてのプログラム] >[Pioneer]>[DJM-2000]>[DJM-2000 設定ユーティリティ] をクリックする

バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション（DJ アプリケーションなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

❖ 確認方法 (Windows)

Windowsの [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DJM-2000]>[DJM-2000 バージョン表示ユーティリティ] をクリックする
[バージョン] 画面が表示されます。

❖ 確認方法 (Macintosh)

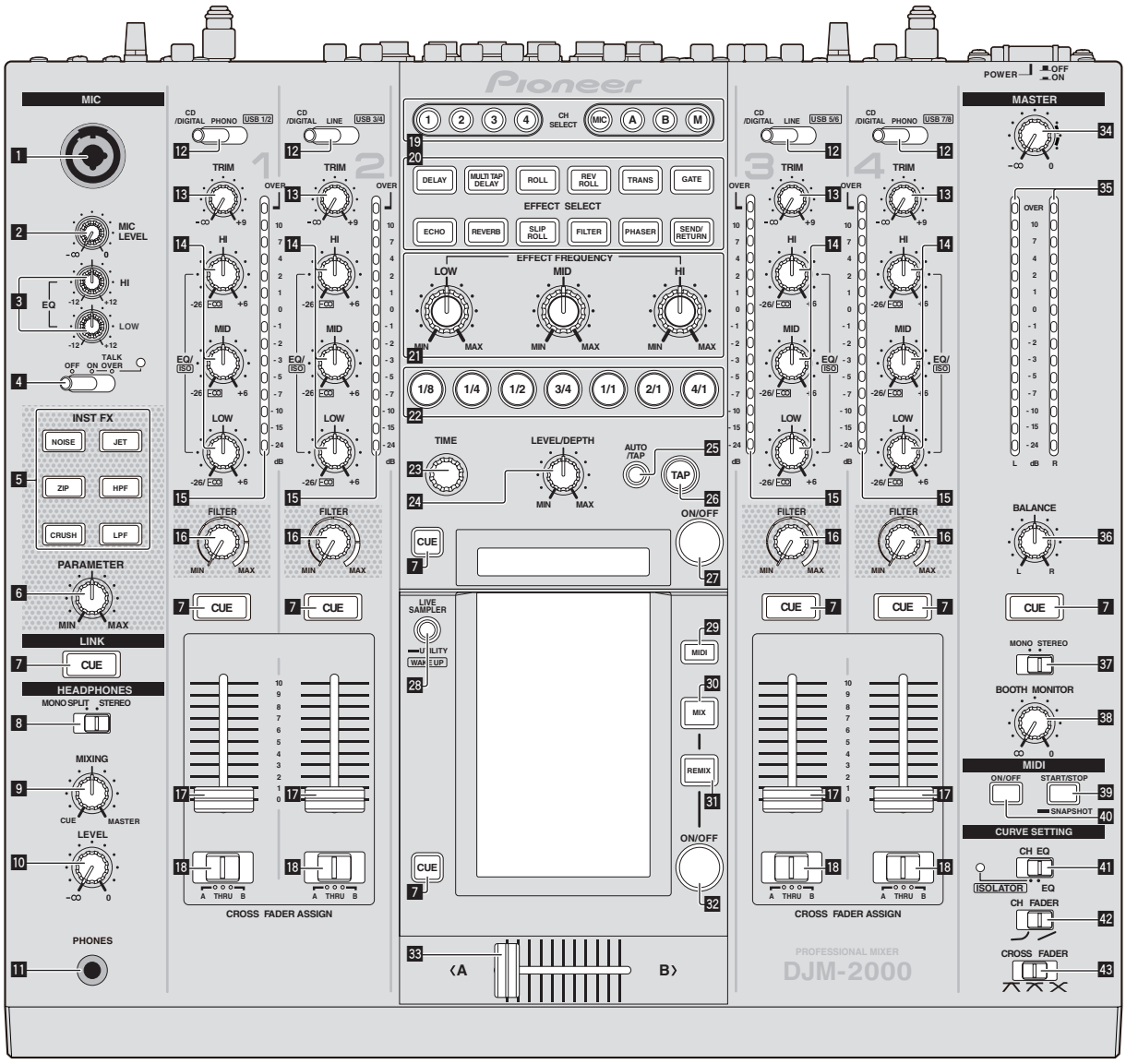
[アップルメニュー]>[この Mac について]>[詳しい情報]>[機能拡張]>[DJM-2000 USBAudio] をクリックする
[バージョン] 画面が表示されます。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。
http://www.prodjnet.com/support/

操作する

操作パネル



1 マイク入力端子（13ページ）
2 MIC LEVEL（13ページ）
3 EQ（HI, LOW）（13ページ）
4 OFF, ON, TALK OVER（13ページ）
5 INST FX（15ページ）
6 PARAMETER（15ページ）
7 CUE（12ページ）
8 MONO SPLIT, STEREO（12ページ）
9 MIXING（12ページ）
10 LEVEL（12ページ）
11 PHONES（12ページ）
12 CD/DIGITAL, PHONO, LINE, USB */*（12ページ）
13 TRIM（12ページ）
14 EQ/ISO（HI, MID, LOW）（12ページ）
15 チャンネルレベルインジケーター（12ページ）
16 FILTER（15ページ）
17 チャンネルフェーダー（12ページ）
18 CROSS FADER ASSIGN（A, THRU, B）（12ページ）
19 CH SELECT（16ページ）
20 EFFECT SELECT（16ページ）
21 EFFECT FREQUENCY（HI, MID, LOW）（16ページ）
22 拍ボタン（16ページ）
23 TIME（16ページ）
24 LEVEL/DEPTH（16ページ）
25 AUTO/TAP（16ページ）
26 TAP（16ページ）
27 ON/OFF（BEAT EFFECT）（16ページ）
28 LIVE SAMPLER（UTILITY, WAKE UP）（15ページ , 23ページ）
29 MIDI（16ページ）
30 MIX（14ページ）
31 REMIX（14ページ）
32 ON/OFF（TOUCH PANEL EFFECT）（14ページ）

33 クロスフェーダー（12ページ）

34 MASTER（12ページ）

35 マスターレベルインジケーター（12ページ）

36 BALANCE（13ページ）

37 MONO, STEREO（13ページ）

38 BOOTH MONITOR（13ページ）

39 START/STOP（SNAPSHOT）（16ページ）

40 ON/OFF（MIDI）（16ページ）

41 CH EQ（ISOLATOR, EQ）（12ページ）

42 CH FADER（⌣, ⌒）（13ページ）

43 CROSS FADER（⌅, ⌅, ⌅）（13ページ）

基本操作

音声を出力する

1 [POWER] を押す

本機の電源をオンにします。

2 [CD/DIGITAL, PHONO, LINE, USB */*] を切り換える

本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを選びます。

— [CD/DIGITAL]：[CD] 端子に接続している DJ プレーヤーを選びます。[DIGITAL IN] 端子に接続している DJ プレーヤーを選ぶときは、本機背面部の [CD, DIGITAL] を [DIGITAL] に設定します。
— [PHONO]：[PHONO] 端子に接続しているアナログプレーヤーを選びます。
— [LINE]：[LINE] 端子に接続しているカセットデッキや CD プレーヤーを選びます。
— [USB */*]：[USB] 端子に接続しているコンピュータの音声を選びます。

3 [TRIM] を回す

各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。
各チャンネルに音声が正しく入力されているときは、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

5 [CROSS FADER ASSIGN（A, THRU, B)] を切り換える

各チャンネルの出力先を切り換えます。

— [A]：クロスフェーダーの [A]（左）側に割り当てます。
— [B]：クロスフェーダーの [B]（右）側に割り当てます。
— [THRU]：クロスフェーダーを使わないときに選びます（クロスフェーダーは通過しません）。

6 クロスフェーダーを動かす

[CROSS FADER ASSIGN（A, THRU, B)] を [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

7 [MASTER] を回す

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から音声が出力されます。
マスターレベルインインジケーターが点灯します。

音質を調整する

各チャンネルの [EQ/ISO（HI, MID, LOW）] を回す

各ツマミで調整できる音域については、27ページの「仕様」をご覧ください。

❖ [EQ/ISO（HI, MID, LOW)] の機能を切り換える

[CH EQ（ISOLATOR, EQ）] を切り換える

— [ISOLATOR]：アイソレーターとして機能します。インジケーターが点灯します。
— [EQ]：イコライザーとして機能します。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

2 モニターしたいチャンネルの [CUE] を押す

3 [MONO SPLIT, STEREO] を切り換える

— [MONO SPLIT]：ヘッドホン出力の左チャンネルから [CUE] を押しているチャンネルの音声、右チャンネルから [MASTER] チャンネルの音声が出力されます。
— [STEREO]：[CUE] を押しているチャンネルの音声がヘッドホンからステレオ音声で出力されます。

4 [MIXING] を回す

[CUE] を押しているチャンネルの音声と [MASTER] の音声のモニター音量バランスを調整します。

5 [HEADPHONES] の [LEVEL] を回す

[CUE] を押しているチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。

- [CUE] をふたたび押すと、モニターが解除されます。
- [LIVE SAMPLER] をオンにしているとき、TOUCH PANEL EFFECTの [CUE] と [LINK] の [CUE] は同時に押せません。

コンピュータの音声をモニターする

- あらかじめ rekordbox の [ファイル] ＞ [プリファレンス] ＞ [オーディオ] で [PIONEER DJ ミキサーの「LINK MONITOR」機能を使用する] にチェックを入れてください。rekordbox の操作説明書もあわせてご覧ください。

1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

2　rekordboxがインストールされているコンピュータを接続する
接続の仕方については、7ページの「入力端子に接続する」をご覧ください。

3　rekordboxでモニターしたい楽曲を選ぶ

4　[LINK] の [CUE] を押す
rekordboxで選んだ楽曲がヘッドホンから出力されます。
- [CUE] をふたたび押すと、モニターが解除されます。
- 「ヘッドホンで音声をモニターする」(手順 3 〜手順 5) と同じ操作をすることができます。

フェーダーカーブを切り換える

❖ チャンネルフェーダーのカーブ特性を選ぶ

[CH FADER (⌣ , ⌒)] を切り換える
— [⌣]：奥側で急峻に立ち上がるカーブになります。
— [⌒]:徐々に立ち上がるカーブになります (チャンネルフェーダーが手前側から離れると音声が徐々に大きくなります)。

❖ クロスフェーダーのカーブ特性を選ぶ

[CROSS FADER (⌅ , ⌆ , ✕)] を切り換える
— [⌅]：急峻に立ち上がるカーブになります (クロスフェーダーが [A] 側の端から離れると、すぐに [B] 側の音声が出力されます)。
— [⌆]：上下 2 つの中間のカーブになります。
— [✕]:徐々に立ち上がるカーブになります (クロスフェーダーが [A] 側の端から離れると、[B] 側の音声が徐々に大きくなり、[A] 側の音声は徐々に小さくなります)。

フェーダーを使って DJ プレーヤーの再生を始める (フェーダースタート)

パイオニア製 DJ プレーヤーと LAN ケーブル (付属品) またはコントロールコード (DJ プレーヤー付属品) を使って接続すると、DJ プレーヤーの再生を始めるなどの操作を、本機のフェーダーで制御できます。
あらかじめ本機とパイオニア製 DJ プレーヤーを接続してください。接続の仕方については、7ページの「入力端子に接続する」をご覧ください。

❖ チャンネルフェーダーを使って再生を始める

1　[CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] を [THRU] に設定する。

2　[FADER START] を [ON] に設定する
設定方法については、23ページの「設定を変更する」をご覧ください。

3　チャンネルフェーダーを一番手前の位置に設定する

4　DJ プレーヤーでキューを設定する
DJ プレーヤーがキューポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

5　チャンネルフェーダーを奥側に動かす
DJ プレーヤーの再生が始まります。
- チャンネルフェーダーの位置を元に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

❖ クロスフェーダーを使って再生を始める

1　[CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] を [A] または [B] に設定する

2　[FADER START] を [ON] に設定する
設定方法については、23ページの「設定を変更する」をご覧ください。

3　クロスフェーダーを動かす
フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

4　DJ プレーヤーでキューを設定する
DJ プレーヤーがキューポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

5　クロスフェーダーを動かす
DJ プレーヤーの再生が始まります。
- クロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

マイクを使う

1　マイク入力端子にマイクを接続する

2　[OFF, ON, TALK OVER] を [ON] または [TALK OVER] に設定する
— [ON]：インジケーターが点灯します。
— [TALK OVER]：インジケーターが点滅します。
- [TALK OVER] に設定すると、マイクに –15 dB (初期設定値) 以上の音声が入力されたとき [MIC] 以外の音声が 20 dB (初期設定値) 減衰します。

3　[MIC LEVEL] を回す
[MIC] から出力される音声レベルを調整します。
- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

4　マイクに音声を入力する

❖ 音質を調整する

[MIC] チャンネルの [EQ (HI, LOW)] を回す
各ツマミで調整できる音域については、27ページの「仕様」をご覧ください。

モノラル音声 /ステレオ音声を切り換える

[MASTER1] 端子、[MASTER2] 端子、[BOOTH] 端子、[REC OUT] 端子、[PHONES] 端子、[DIGITAL OUT] 端子、および [USB] 端子から出力される音声のモノラル音声 /ステレオ音声を切り換えられます。

[MONO, STEREO] を切り換える
— [MONO]：モノラル音声が出力されます。
— [STEREO]：ステレオ音声が出力されます。

❖ 音声の左右バランスを調整する

[MASTER1] 端子、[MASTER2] 端子、[BOOTH] 端子、[REC OUT] 端子、[PHONES] 端子、[DIGITAL OUT] 端子、および [USB] 端子から出力される音声の左右のバランスを調整できます。

1　[MONO, STEREO] を [STEREO] に設定する

2　[BALANCE] を回す
[BALANCE] を回す方向と位置によって音声の左右のバランスが変化します。
- 右に回しきるとステレオ音声の右側音声だけ出力されます。左に回しきるとステレオ音声の左側音声だけ出力されます。

[BOOTH] 端子から音声を出力する

[BOOTH MONITOR] を回す
[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。

応用操作

PRO DJ LINKについて

PRO DJ LINK対応のパイオニア製 DJ プレーヤー (CDJ-2000、CDJ-900など)、rekordboxがインストールされているコンピュータ、および本機を LAN ケーブルを使って接続すると以下の PRO DJ LINK機能をお使いいただけます。
PRO DJ LINK機能については、DJ プレーヤーの取扱説明書および rekordbox の操作説明書もあわせてご覧ください。
接続の仕方については、7ページの「入力端子に接続する」をご覧ください。

- DJ プレーヤーは最大 4 台まで接続できます。コンピュータは最大 2 台まで接続できます。
- DJ プレーヤーは音声ケーブルを接続したチャンネルと同じ番号の [**LINK**] 端子 [**CH1**] ～ [**CH4**] に接続してください。
- コンピュータは [**COMPUTER 1**]、[**COMPUTER 2**] に接続してください。

❖ SD&USB Export

CDJ-2000、CDJ-900などにセットされている SD メモリーカード / USB デバイス内の rekordboxの音楽ファイルや管理データを本機を経由して DJ プレーヤー同士で受け渡しできます。

❖ rekordbox LINK Export

rekordboxの音楽ファイルや管理データを直接受け渡しできます。SD メモリーカード /USB デバイスにデータをエキスポートする手間を省けます。

❖ LIVE SAMPLER

[**MIC**] に入力されている音声または [**MASTER**] から出力されている音声をサンプリングして DJ プレーヤーで再生できます。

❖ LINK MONITOR

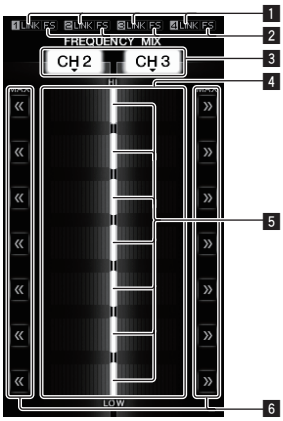
コンピュータに保存されている rekordboxの音楽ファイルをヘッドホンで素早くモニターできます。

❖ STATUS INFORMATION

接続しているチャンネルの状態 (オンエア状況やチャンネル番号など) を DJ プレーヤーに知らせます。

FREQUENCY MIX

再生している音声を 7 つの周波数帯域に分けてグラフィカルに表示します。タッチパネルのフェーダー操作によって、より詳細に分かりやすく 2 つの音声をミックスしたり楽器 (パート) を入れ替えたりできます。



1	**LINK**	[**LINK**] 端子に DJ プレーヤーが正しく接続されているとき点灯します。
2	**FS**	フェーダースタート機能がオンに設定されているとき点灯します。
3	チャンネルアサイン	ミックスするチャンネルを選びます。
4	音量レベル表示	本機能への入力音量レベルを薄い色で、本機能からの出力音量レベルを濃い色で表示します。
5	タッチフェーダー	ミックスするチャンネルの音量バランスを周波数帯域ごとに調整します。
6	<< >>	タッチフェーダーを左右の端まで瞬時に移動します。

❖ [CH2] と [CH3] を MIX するとき：

あらかじめ [**CH3**] の音声が [**MASTER**] から出力されている状態になるよう準備します。

1 [CH2] および [CH 3] の [CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] を [THRU] に設定する

- ミックスしたいチャンネルの [**CROSS FADER ASSIGN** (**A**, **THRU**, **B**)] を [**THRU**] に設定します。
- クロスフェーダーを使うときはセンター位置に設定することをおすすめします。

2 [MIX] を押す

タッチパネルに [**FREQUENCY MIX**] 画面が表示されます。

3 チャンネルアサインを押して左側に [CH2]、右側に [CH3] を選ぶ

タッチパネルの右半分に [**CH3**] で再生している音声の周波数帯域ごとの音量レベルが表示されます。

4 [>>] をすべて押す

タッチフェーダーがすべて右端に移動します。

5 [ON/OFF] を押す

エフェクトをオンにします。
エフェクトをオンにしているとき [**ON/OFF**] が点滅します。

6 チャンネル [CH2] のチャンネルフェーダーを奥側に動かす

タッチパネルの左半分に [**CH2**] で再生している音声の周波数帯域ごとの音量レベルが表示されます。

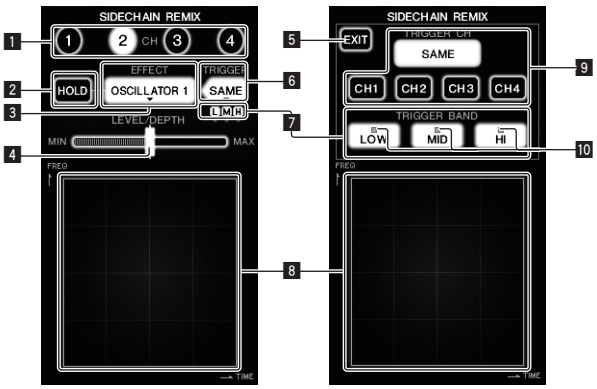
7 タッチフェーダーを左側に動かす

動かした周波数帯域の音声がミックスされて出力されます。

- [**ON/OFF**] をふたたび押すと、エフェクトがオフになります。
- [**FREQUENCY MIX**] から [**SIDECHAIN REMIX**] に切り換えるときは、いったん [**ON/OFF**] を押してエフェクトをオフにしてから [**REMIX**] を押します。

SIDECHAIN REMIX

指定したチャンネルの指定した周波数帯域の音声をトリガーにして、別のチャンネルの音声にエフェクトを加えて出力できます。



1	**CH**	エフェクトを加えるチャンネルを選びます。
2	**HOLD**	エフェクトのパラメーター情報 (コントロールエリアに触れている位置) を保持します。
3	**EFFECT**	エフェクトの種類を選びます。
4	**LEVEL/DEPTH**	エフェクトを加える量を調整します。
5	**EXIT**	[**TRIGGER**] メニューを閉じます。
6	**TRIGGER (SAMPLING/ TRIGGER)**	[**TRIGGER**] メニューを開きます。
7	**TRIGGER BAND**	トリガーに使う周波数帯域を選びます。
8	コントロールエリア	エフェクトのパラメーターを変化させます。
9	**TRIGGER CH (SAMPLING/ TRIGGER CH)**	エフェクトのトリガーにするチャンネルを選びます。
10	トリガーインジケーター	周波数帯域ごとに自動検出されたリズムに合わせて点滅します。

❖ サンプリングおよびトリガーにするチャンネルを [CH3] とし、サンプリング音声を [CH2] の音声にミックスして出力するとき：

あらかじめ [**CH2**] の音声が [**MASTER**] から出力されている状態になるよう準備します。

1 [REMIX] を押す

タッチパネルに [**SIDECHAIN REMIX**] 画面が表示されます。

2 [CH] で [2] を押す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

3 [EFFECT] を押して [SAMPLER] を選ぶ

エフェクトの種類を選びます。

エフェクト名	説明
OSCILLATOR1～ 4	本機内部で音声を作り出し、[CH] で選んでいるチャンネルの音声にミックスして [TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] のトリガーに合わせて出力します。
SAMPLER	[TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] で選んでいるチャンネルの音声をサンプリングし、[CH] で選んでいるチャンネルの音声にミックスして [TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] のトリガーに合わせて出力します。
PITCH	[CH] で選んでいるチャンネルの音声の音程を変え、[CH] で選んでいるチャンネルにミックスして [TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] のトリガーに合わせて出力します。
GATE	[CH] に入力された音声を [TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] のトリガーに合わせて出力します。

- エフェクトは複数同時に選べません。

4 [TRIGGER (SAMPLING/TRIGGER)] を押す
[TRIGGER] メニューが表示されます。

5 [TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH)] で [CH3] を選ぶ
エフェクトのトリガーにするチャンネルを選びます。
- [SAME] を押すと [CH] で選んだチャンネルと同じチャンネルがトリガーに選ばれます。

6 [TRIGGER BAND] で [MID] と [HI] を押す
エフェクトのトリガーに設定する周波数帯域を選びます。
[LOW] (低域音声) だけ選んだ状態にします。

7 [ON/OFF] を押す
エフェクトをオンにします。
エフェクトをオンにしているとき [ON/OFF] が点滅します。

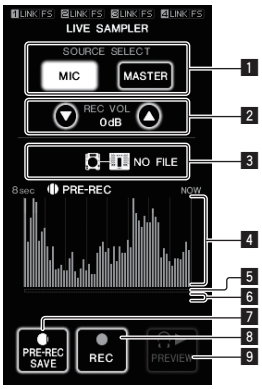
8 コントロールエリアに触れる
触れた箇所に [○] が表示されます。
コントロールエリアに触れた時点の [CH3] の音声がサンプリングされます。
[CH3] の低域音声をトリガーにして、サンプリング音声が通常再生を続けている [CH2] の音声にミックスされて [MASTER] から出力されます。
コントロールエリア上の触れる位置を変えるとエフェクトが変化します。
- [ON/OFF] をふたたび押すと、エフェクトがオフになります。
- サンプリングされた音声は、コントロールエリアに触れている間だけ有効です。
- [SIDECHAIN REMIX] から [FREQUENCY MIX] に切り換えるときは、いったん [ON/OFF] を押してエフェクトをオフにしてから [MIX] を押します。

❖ [HOLD] を使う

[HOLD] をオンにすると、エフェクトをオフにしてもエフェクトのパラメーター情報を保持できます。[HOLD] をオフにすると保持していたパラメーター情報が消去されます。
- エフェクトを切り換えると、パラメーター情報とサンプリングした音声が消去されます。

LIVE SAMPLER

[MIC] に入力されている音声または [MASTER] から出力されている音声をサンプリングして PRO DJ LINK対応のパイオニア製 DJ プレーヤーで再生できます。あらかじめ本機と PRO DJ LINK対応のパイオニア製 DJ プレーヤーを接続してください。接続の仕方については、7ページの「入力端子に接続する」をご覧ください。



1	SOURCE SELECT	サンプリングするソースを選びます。
2	REC VOLUME	録音時の音量を調整します。 音量の調整範囲は－ 9 dB ～＋ 9 dB です。
3	ステータス表示	本機の状態およびサンプリングデータの有無を表示します。
4	波形表示	音声を波形で表示します。
5	プレーイングアドレス表示	音声を棒グラフで表示します。 視聴再生時だけ表示されます。
6	スライダー	タッチパネルに触れた位置から音声を再生します。 視聴再生時だけ表示されます。
7	PRE-REC SAVE	ボタンを押した時点の 8 秒前から音声をサンプリングします。
8	REC (REC STOP)	ボタンを押した時点から最大 8 秒間の音声をサンプリングします。
9	PREVIEW (STOP)	サンプリングした音声をヘッドホンで試聴します。

❖ 再生中の音声をサンプリングする

1 [LIVE SAMPLER] を押す
タッチパネルに [LIVE SAMPLER] 画面が表示されます。

2 [SOURCE SELECT] で [MIC] または [MASTER] を押す
サンプリングするチャンネルを選びます。

3 [REC (REC STOP)] を押す
[REC (REC STOP)] を押した時点から手順 2 で選んだチャンネルの音声をサンプリングします。
- サンプリング可能時間は 8 秒間です。
- [REC (REC STOP)] を押してから 8 秒経過すると自動的にサンプリングを停止します。

4 [REC (REC STOP)] を押す
サンプリングを停止します。サンプリング音声の保存中画面が表示されます。

❖ 8 秒前の時点から音声をサンプリングする

1 [LIVE SAMPLER] を押す
タッチパネルに [LIVE SAMPLER] 画面が表示されます。

2 [SOURCE SELECT] で [MIC] または [MASTER] を押す
サンプリングするチャンネルを選びます。

3 [PRE-REC SAVE] を押す
[PRE-REC SAVE] を押した時点の 8 秒前から、手順 2 で選んだチャンネルの音声をサンプリングします。
- サンプリング可能時間は 8 秒間です。

❖ サンプリングした音声を試聴する

1 タッチパネル左横の [CUE] を押す

2 [PREVIEW (STOP)] を押す
再生している位置をプレーイングアドレスとスライダーで表示します。
- タッチパネルのスライダーに触れると、触れた位置からサンプリング音声を再生します。

❖ サンプリングした音声を DJ プレーヤーで再生する

PRO DJ LINKを使って DJ プレーヤーから本機にアクセスしてください。
サンプリングした音声 (音声ファイル) を DJ プレーヤーにロードして再生できます。

INST FX

各チャンネルの [FILTER] に連動して変化するエフェクトです。

1 [INST FX] のいずれかを押す
エフェクトの種類を選びます。
押したボタンが点滅します。
- [CH1] ～ [CH4] に同じエフェクトが設定されます。

2 [FILTER] を回す
ツマミを回したチャンネルの音声にエフェクトが加わります。

エフェクト名	説明	FILTER (パラメーター 1)	PARAMETER (パラメーター 2)
NOISE	本機内部で発生させたホワイトノイズをフィルターを通してからチャンネルの音声とミックスして出力します。	ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を設定します。	ホワイトノイズの音量を設定します。
ZIP	チャンネルの音声の音程を下げて出力します。	音程を下げるピッチシフト量を設定します。	原音とエフェクト音のバランスを設定します。
CRUSH	チャンネルの音声を壊したような音に変化させて出力します。	入力音を壊す程度を設定します。	右に回すほど効果が強調されます。
JET	フランジャー効果を加えて出力します。	フランジャー効果を設定します。	右に回すほど効果が強調されます。
HPF	ハイパスフィルターを通して出力します。	フィルターのカットオフ周波数を設定します。	右に回すほど効果が強調されます。
LPF	ローパスフィルターを通して出力します。	フィルターのカットオフ周波数を設定します。	右に回すほど効果が強調されます。

❖ エフェクト音の効果を調節する

[PARAMETER] を回す
右に回すほど効果が強調されます。左に回しきると効果が最小になります。

BEAT EFFECT

再生中の曲のテンポ (BPM=Beats Per Minute) に合わせたさまざまなエフェクトを瞬時に設定できます。

1	**AUTO (TAP)**	BPM 測定モードがオートモードのとき [**AUTO**] が点灯します。手動入力モードのとき [**TAP**] が点灯します。
2	BPM 値表示 (3 桁)	オートモードのときは自動で検出した BPM 値を表示します。検出できないときは前回検出した BPM 値で点滅します。手動入力モードのときは手動で入力した BPM 値を表示します。
3	**BPM**	常時点灯します。
4	**% (ms)**	エフェクトごとの単位に合わせて点灯します。

1 [AUTO/TAP] を押す

BPM の測定モードを選びます。

— AUTO：入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、AUTOに設定されます。

— TAP：[**TAP**] を指で叩いて BPM を手動で入力します。

- AUTOの BPM 測定範囲は BPM=70 ～ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは [**TAP**] を使って手動で入力してください。

2 [CH SELECT] のいずれかを押す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

— [**1**] ～ [**4**]：[**CH1**] ～ [**CH4**] の音声にエフェクトを加えます。

— [**MIC**]：[**MIC**] の音声にエフェクトを加えます。

— [**A**], [**B**]：クロスフェーダーの [**A**] (左) 側または [**B**] (右) 側の音声にエフェクトを加えます。

— [**M**]：[**MASTER**] の音声にエフェクトを加えます。

3 [EFFECT SELECT] のいずれかを押す

エフェクトの種類を選びます。

- エフェクトの種類については、21ページの「BEAT EFFECTの種類」をご覧ください。
- [**SEND/RETURN**] を選んだときは、以下の「外部エフェクターを使う」をご覧ください。

4 拍ボタンのいずれかを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率を選びます。
拍の倍率に対応したエフェクトタイムが自動で設定されます。

- 拍ボタンを押しながら [**TIME**] を回すと拍の倍率を変えられます。

5 [ON/OFF] を押す

音声にエフェクトが加わります。
[**TIME**] を回すと、エフェクトの時間的パラメーターを調節できます。
[**LEVEL/DEPTH**] を回すと、エフェクトの量的パラメーターを調節できます。
エフェクトをオンにしているとき [**ON/OFF**] が点滅します。

- [**ON/OFF**] をふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

❖ BPM を手動で入力する

再生中の音声の拍 (4 分音符) に合わせて [TAP] を 2 回以上指で叩く

[**TAP**] を指で叩いた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- [**TAP**] を使って BPM を設定すると拍の倍率は「**1/1**」に設定され、1 拍 (4 分音符) の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- [**TAP**] を押しながら [**TIME**] を回すと BPM を手動で設定できます。
- [**TAP**] を押しながら拍ボタンを押すと BPM を手動で設定できます。
- [**TAP**] と [**AUTO/TAP**] を押しながら [**TIME**] を回すと BPM を 0.1 単位で設定できます。

❖ 周波数ごとにエフェクトを加える量を調整する

[EFFECT FREQUENCY (HI, MID, LOW)] を回す

各ツマミで調整できるエフェクトのパラメーターについては、21ページの「BEAT EFFECTの種類」をご覧ください。

❖ 外部エフェクターを使う

1 本機と外部エフェクターを接続する

[**SEND/RETURN**] が点灯します。
接続の仕方については、7ページの「出力端子に接続する」をご覧ください。

2 [CH SELECT] のいずれかを押す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

3 [SEND/RETURN] を押す

[**SEND/RETURN**] が点滅します。

4 [ON/OFF] を押す

外部エフェクターを通過した音声が出力されます。

- [**ON/OFF**] をふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

MIDI を使う

❖ DJ ソフトウェアを操作する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。
お使いのコンピュータにあらかじめ DJ ソフトウェアをインストールしてください。また、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- MIDI チャンネルの設定方法については、23ページの「設定を変更する」をご覧ください。

1 本機の [USB] 端子とコンピュータを接続する

接続方法については、8ページの「コンピュータを接続する」をご覧ください。

2 DJ ソフトウェアを起動する

3 [MIDI] の [ON/OFF] を押す

MIDI をオンにします。
MIDI メッセージの送信を始めます。

- フェーダーやツマミを動かすと、その位置に応じたメッセージを送信します。本機が出力するメッセージについては 17ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。
- [**START/STOP**] を 2 秒以上続けて押すと、ボタン、フェーダーまたはツマミの位置に応じた MIDI メッセージを一括で送信します (スナップショット)。
- MIDI タイミングクロック (BPM 情報) は [**ON/OFF**] に関係なく送信されます。
- [**MIDI**] の [**ON/OFF**] をふたたび押すと、MIDI メッセージの送信を止めます。

❖ MIDI スタート /MIDI ストップを送信する

[MIDI] の [START/STOP] を押す

- MIDI スタート /MIDI ストップのメッセージは MIDI のオン /オフに関わらず [**START/STOP**] を押すたび交互に送信されます。

MIDI コントロール画面を使う

本機は 4 種類の MIDI コントロール画面を備えています。お持ちの DJ ソフトウェアに合わせてお使いください。

1 タッチパネル右横の [MIDI] を押す

タッチパネルに [**MIDI CONTROL**] 画面が表示されます。

2 [TYPE A] ～ [TYPE D] を選ぶ

MIDI コントロール画面の種類を選びます。

- [**PAGE1**] または [**PAGE2**] を押すと表示されるページが切り換わります。

3 タッチパネルのボタンまたはフェーダーを操作する

MIDI メッセージの送信を始めます。
本機が出力するメッセージについては 17ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

外部 MIDI シーケンサーを操作する

本機は再生中の音声のテンポ (BPM 情報) を MIDI タイミングクロックとして送信します。外部 MIDI シーケンサーを音声のテンポに同期させることができます。

- MIDI タイミングクロックに対応していない外部 MIDI シーケンサーは同期できません。
- BPM が安定して測定できない音声では外部 MIDI シーケンサーは同期できません。
- [**TAP**] を指で叩いて手動で入力した BPM 値でも、MIDI タイミングクロックを出力します。MIDI タイミングクロックの出力範囲は 40 BPM ～ 250 BPM です。

1 [MIDI OUT] 端子と外部 MIDI シーケンサーの MIDI IN 端子を市販の MIDI ケーブルを使って接続する

2 外部 MIDI シーケンサーのシンクモードをスレーブに設定する

3 [START/STOP] を押す

MIDI スタートを送信します。

4 [MIDI] の [ON/OFF] を押す

MIDI メッセージの送信を始めます。

MIDI メッセージ一覧

操作パネル

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
CH1	TRIM	VR	Bn	01	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	HI	VR	Bn	02	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MID	VR	Bn	03	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	04	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	FILTER	VR	Bn	05	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	チャンネルフェーダー	VR	Bn	11	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CROSS FADER ASSIGN	SW	Bn	41	dd	–	–	–	–	0, 64, 127
	CUE	BTN	Bn	46	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
CH2	TRIM	VR	Bn	06	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	HI	VR	Bn	07	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MID	VR	Bn	08	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	09	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	FILTER	VR	Bn	0A	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	チャンネルフェーダー	VR	Bn	12	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CROSS FADER ASSIGN	SW	Bn	42	dd	–	–	–	–	0, 64, 127
	CUE	BTN	Bn	47	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
CH 3	TRIM	VR	Bn	0C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	HI	VR	Bn	0E	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MID	VR	Bn	0F	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	15	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	FILTER	VR	Bn	16	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	チャンネルフェーダー	VR	Bn	13	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CROSS FADER ASSIGN	SW	Bn	43	dd	–	–	–	–	0, 64, 127
	CUE	BTN	Bn	48	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
CH4	TRIM	VR	Bn	50	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	HI	VR	Bn	51	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MID	VR	Bn	5C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	52	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	FILTER	VR	Bn	53	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	チャンネルフェーダー	VR	Bn	14	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CROSS FADER ASSIGN	SW	Bn	44	dd	–	–	–	–	0, 64, 127
	CUE	BTN	Bn	49	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
クロスフェーダー	クロスフェーダー	VR	Bn	0B	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
CURVE SETTING	CH EQ (ISOLATOR, EQ)	SW	Bn	21	dd	–	–	–	–	0, 127
	CH FADER (⌣, ⁄)	SW	Bn	5E	dd	–	–	–	–	0, 127
	CROSS FADER (⊼, ⊼, ×)	SW	Bn	5F	dd	–	–	–	–	0, 64, 127
MASTER	BALANCE	VR	Bn	17	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MASTERレベル	VR	Bn	18	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CUE	BTN	Bn	4A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	BOOTH MONITOR	VR	Bn	19	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
CH SELECT	1	BTN	Bn	22	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	2	BTN	Bn	23	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	3	BTN	Bn	24	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	4	BTN	Bn	25	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	MIC	BTN	Bn	26	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	A	BTN	Bn	27	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	B	BTN	Bn	28	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	M	BTN	Bn	29	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
BEAT EFFECT	TIME	VR	Bn	0D	MSB	Bn	2D	LSB	–	TIMEの値（EFFECT SELECTで FILTERまたは PHASERを選んでいるときは半分の値になります。）
	ON/OFF	BTN	Bn	40	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	AUTO/TAP	BTN	Bn	45	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	CUE	BTN	Bn	4B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TAP	BTN	Bn	4E	dd	–	–	–	トリガー / トリガー	OFF=0, ON=127
	LEVEL/DEPTH	VR	Bn	5B	dd	–	–	–	–	0 ～ 127

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
EFFECT SELECT	DELAY	BTN	Bn	2A	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	MULTI TAP DELAY	BTN	Bn	2B	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	ROLL	BTN	Bn	2E	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	REV ROLL	BTN	Bn	2F	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	TRANS	BTN	Bn	35	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	GATE	BTN	Bn	3D	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	ECHO	BTN	Bn	37	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	REVERB	BTN	Bn	36	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	SLIP ROLL	BTN	Bn	3A	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	FILTER	BTN	Bn	3B	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	PHASER	BTN	Bn	39	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	SEND/RETURN	BTN	Bn	3E	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
EFFECT FREQUENCY	HI	VR	Bn	66	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MID	VR	Bn	67	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	68	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
INST FX	NOISE	BTN	Bn	55	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	ZIP	BTN	Bn	56	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	CRUSH	BTN	Bn	57	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	JET	BTN	Bn	69	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	HPF	BTN	Bn	6A	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	LPF	BTN	Bn	6B	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	PARAMETER	VR	Bn	6C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
MIC	HI	VR	Bn	1E	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LOW	VR	Bn	1F	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
HEADPHONES	LEVEL	VR	Bn	1A	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	MIXING	VR	Bn	1B	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
LINK	CUE	BTN	Bn	73	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
タッチパネルコントロール	CUE	BTN	Bn	6E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	MIDI	BTN	Bn	6F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	MIX	BTN	Bn	70	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	REMIX	BTN	Bn	71	dd	–	–	–	トリガー / トグル [1]	OFF=0, ON=127
	ON/OFF	BTN	Bn	72	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
MIDI	START	BTN	FA	–	–	–	–	–	–	–
	STOP	BTN	FC	–	–	–	–	–	–	–

[1] あるボタンを ON にすることにより、別のボタンが ON から OFF に切り換わるとき、2 つのボタンから MIDI メッセージの ON と OFF をそれぞれ送信します。
OFF に切り換わるボタンがないときは、押したボタンから MIDI メッセージの ON だけ送信します。

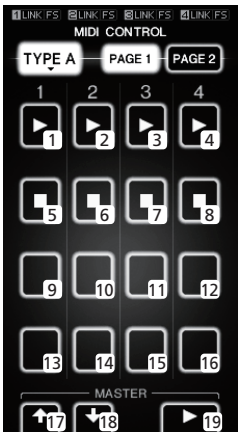
タッチパネル

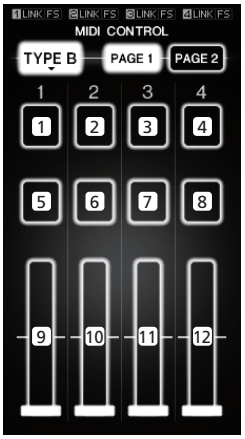
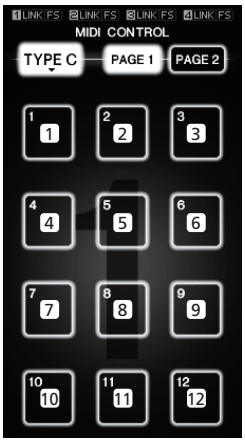
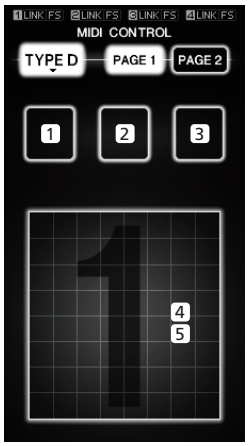
❖ FREQUENCY MIX、SIDECHAIN REMIX

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
FREQUENCY MIX	タッチフェーダー 1	VR	Bn	38	dd	–	–	–	–	0 ～ 127 (画面最上部)
	タッチフェーダー 2	VR	Bn	4C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	タッチフェーダー 3	VR	Bn	4D	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	タッチフェーダー 4	VR	Bn	74	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	タッチフェーダー 5	VR	Bn	75	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	タッチフェーダー 6	VR	Bn	76	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	タッチフェーダー 7	VR	Bn	77	dd	–	–	–	–	0 ～ 127 (画面最下部)

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
SIDECHAIN REMIX	コントロールエリア X 軸	VR	Bn	1C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	コントロールエリア Y 軸	VR	Bn	3C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	LEVEL/DEPTH	VR	Bn	31	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	CH1	BTN	9n	49	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	CH2	BTN	9n	4A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	CH3	BTN	9n	4B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	CH4	BTN	9n	4C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH) SAME	BTN	9n	51	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH) CH1	BTN	9n	52	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH) CH2	BTN	9n	53	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH) CH3	BTN	9n	54	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER CH (SAMPLING/TRIGGER CH) CH4	BTN	9n	55	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER BAND LOW	BTN	9n	59	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER BAND MID	BTN	9n	5A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TRIGGER BAND HI	BTN	9n	5B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127

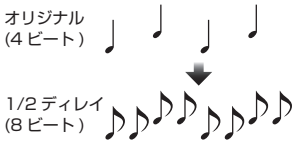
❖ MIDI CONTROL

カテゴリー	SW 位置	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
TYPE A 	[PAGE1]-9	BTN	9n	5D	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-10	BTN	9n	5E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-11	BTN	9n	5F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-12	BTN	9n	60	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-13	BTN	9n	61	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-14	BTN	9n	62	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-15	BTN	9n	63	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-16	BTN	9n	64	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-5	BTN	9n	65	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-6	BTN	9n	66	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-7	BTN	9n	67	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-8	BTN	9n	68	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-1	BTN	9n	69	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-2	BTN	9n	6A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-3	BTN	9n	6B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-4	BTN	9n	6C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1], [PAGE2]-17	BTN	9n	7D	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1], [PAGE2]-18	BTN	9n	7E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1], [PAGE2]-19	BTN	9n	7F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-9	BTN	9n	6D	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-10	BTN	9n	6E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-11	BTN	9n	6F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-12	BTN	9n	70	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-13	BTN	9n	71	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-14	BTN	9n	72	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-15	BTN	9n	73	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-16	BTN	9n	74	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-5	BTN	9n	75	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-6	BTN	9n	76	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-7	BTN	9n	77	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-8	BTN	9n	78	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-1	BTN	9n	79	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-2	BTN	9n	7A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-3	BTN	9n	7B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-4	BTN	9n	7C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127

カテゴリー	SW 位置	SW の種類	MIDI メッセージ						トリガー / トグル	備考
			MSB			LSB				
TYPE B 	[PAGE1]-9	VR	Bn	01	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE1]-10	VR	Bn	02	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE1]-11	VR	Bn	03	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE1]-12	VR	Bn	04	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-9	VR	Bn	05	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-10	VR	Bn	06	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-11	VR	Bn	07	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-12	VR	Bn	08	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE1]-1	BTN	9n	30	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-2	BTN	9n	31	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-3	BTN	9n	32	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-4	BTN	9n	33	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-5	BTN	9n	34	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-6	BTN	9n	35	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-7	BTN	9n	36	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-8	BTN	9n	37	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-1	BTN	9n	38	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-2	BTN	9n	39	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-3	BTN	9n	3A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-4	BTN	9n	3B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-5	BTN	9n	48	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-6	BTN	9n	49	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-7	BTN	9n	4A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-8	BTN	9n	4B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
TYPE C 	[PAGE1]-1	BTN	9n	3C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-2	BTN	9n	3D	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-3	BTN	9n	3E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-4	BTN	9n	3F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-5	BTN	9n	40	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-6	BTN	9n	41	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-7	BTN	9n	42	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-8	BTN	9n	43	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-9	BTN	9n	44	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-10	BTN	9n	45	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-11	BTN	9n	46	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-12	BTN	9n	47	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-1	BTN	9n	24	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-2	BTN	9n	25	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-3	BTN	9n	26	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-4	BTN	9n	27	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-5	BTN	9n	28	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-6	BTN	9n	29	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-7	BTN	9n	2A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-8	BTN	9n	2B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-9	BTN	9n	2C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-10	BTN	9n	2D	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-11	BTN	9n	2E	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-12	BTN	9n	2F	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
TYPE D 	[PAGE1]-1	BTN	9n	57	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-2	BTN	9n	58	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-3	BTN	9n	59	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE1]-4	VR	Bn	1C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE1]-5	VR	Bn	3C	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-1	BTN	9n	5A	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-2	BTN	9n	5B	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-3	BTN	9n	5C	dd	–	–	–	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	[PAGE2]-4	VR	Bn	31	dd	–	–	–	–	0 ～ 127
	[PAGE2]-5	VR	Bn	32	dd	–	–	–	–	0 ～ 127

BEAT EFFECTの種類

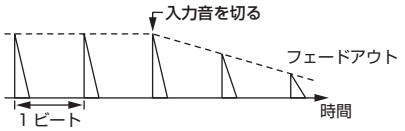
DELAY[1]



拍ボタンの倍率に合わせてディレイ音を 1 回出力します。
1/2ビートのディレイ音を重ねると 4 ビートが 8 ビートになります。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**〜 **4/1**のディレイタイムを設定します。
TIME（パラメーター 2）	ディレイタイムを設定します。 **1**〜 **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音とディレイ音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音とディレイ音のバランスを各帯域で設定します。

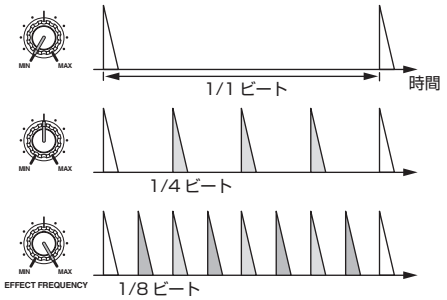
ECHO[1] [2]



拍ボタンの倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。
1/1ビートのエコー音では入力音を切ったあとも曲のテンポに合わせてディレイ音がフェードアウトします。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**〜 **4/1**のディレイタイムを設定します。
TIME（パラメーター 2）	ディレイタイムを設定します。 **1**〜 **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音とエコー音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音とエコー音のバランスを各帯域で設定します。

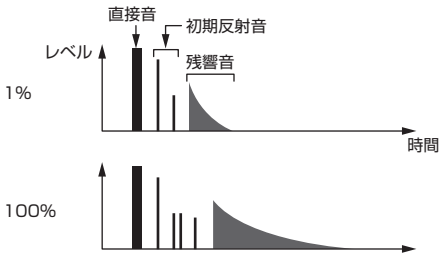
MULTI TAP DELAY[1]



拍ボタンの倍率に合わせてディレイ音を 1/8単位で最大 7 回出力します。
[**EFFECT FREQUENCY**] でディレイ音の音量を調整できます。
[**MIN**] からセンター位置までは奇数番目、センター位置から [**MAX**] までは偶数番目のディレイ音の音量を調整します。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**〜 **4/1**のエフェクト時間を設定します。
TIME（パラメーター 2）	ディレイタイムを設定します。 **10**〜 **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音とディレイ音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	ディレイ音の音量を各帯域で設定します。

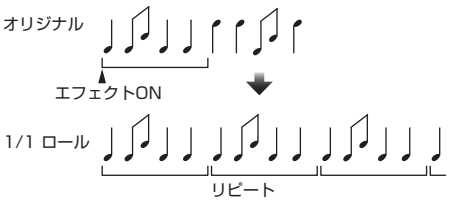
REVERB[1] [2]



入力音に残響効果を加えます。

拍ボタン（パラメーター 1）	残響効果の程度を **1**〜 **100** %の間で設定します。
TIME（パラメーター 2）	残響効果の程度を設定します。 **1**〜 **100** (%)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音とエフェクト音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音とエフェクト音のバランスを各帯域で設定します。

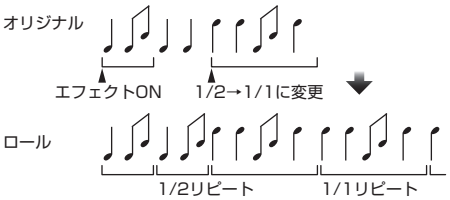
ROLL[1] [2]



[**ON/OFF**] を押した時点の入力音を記録し、記録した音を拍ボタンの倍率に合わせて繰り返し出力します。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**〜 **4/1**のエフェクト時間を設定します。
TIME（パラメーター 2）	エフェクト時間を設定します。 **10**〜 **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音と **ROLL**音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音と **ROLL**音のバランスを各帯域で設定します。

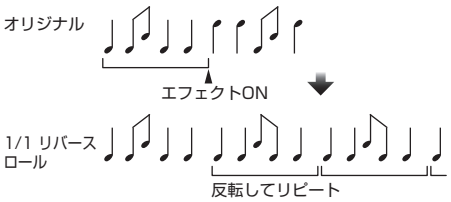
SLIP ROLL[1] [2]



[**ON/OFF**] を押した時点の入力音を記録し、記録した音を拍ボタンの倍率に合わせて繰り返し出力します。
エフェクト時間が変わると入力音を再び記録します。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**〜 **4/1**のエフェクト時間を設定します。
TIME（パラメーター 2）	エフェクト時間を設定します。 **10**〜 **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音と **ROLL**音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音と **ROLL**音のバランスを各帯域で設定します。

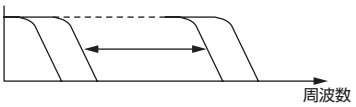
REV ROLL[1] [2]



[**ON/OFF**] を押した時点の入力音を記録し、記録した音を反転させ拍ボタンの倍率に合わせて繰り返し出力します。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPMの 1 拍の時間に対して **1/8**～ **4/1**のエフェクト時間を設定します。
TIME（パラメーター 2）	エフェクト時間を設定します。 **10**～ **4000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音と **ROLL**音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音と **ROLL**音のバランスを各帯域で設定します。

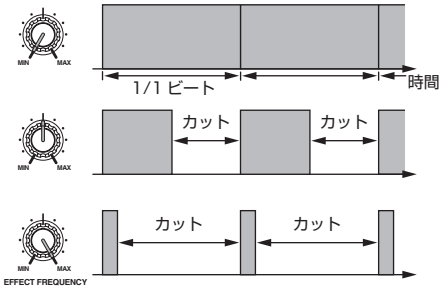
FILTER[1]



拍ボタンの倍率に合わせてフィルターのカットオフ周波数が変化します。

拍ボタン（パラメーター 1）	カットオフ周波数を移動させる周期を BPM の 1 拍の時間に対して **1/8**～ **4/1**の時間で設定します。
TIME（パラメーター 2）	カットオフ周波数が移動する周期を設定します。 **10**～ **32000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	右に回すほど効果が強調されます。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音とエフェクト音のバランスを各帯域で設定します。

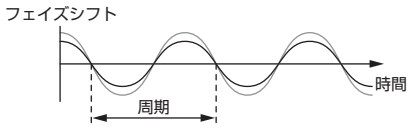
TRANS[1]



拍ボタンの倍率に合わせて音をカットします。
[**EFFECT FREQUENCY**] で音をカットする量を変えられます。

拍ボタン（パラメーター 1）	BPM の 1 拍の時間に対して **1/8**～ **4/1**のカット時間を設定します。
TIME（パラメーター 2）	エフェクト時間を設定します。 **10**～ **16000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	原音とエフェクト音のバランスを設定します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音のカット量を各帯域で設定します。

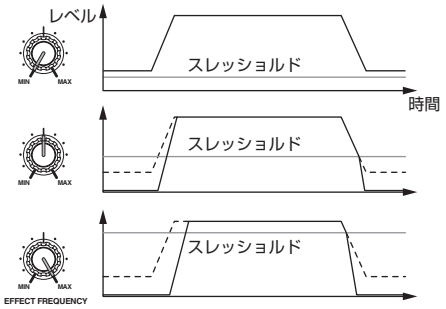
PHASER[1]



拍ボタンの倍率に合わせてフェイザー効果が変化します。

拍ボタン（パラメーター 1）	フェイザー効果を移動させる周期を BPM の 1 拍の時間に対して **1/8**～ **4/1**の時間で設定します。
TIME（パラメーター 2）	フェイザー効果が移動する周期を設定します。 **10**～ **32000** (ms)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	右に回すほど効果が強調されます。 左に回しきると原音だけ出力されます。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	原音とエフェクト音のバランスを各帯域で設定します。

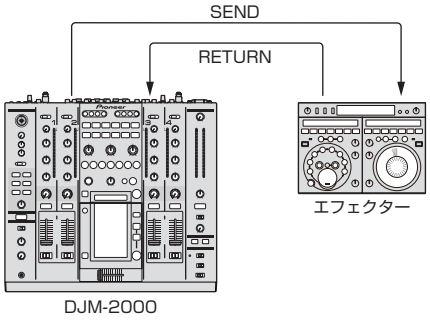
GATE[1]



スレッショルドレベルより高いレベルの入力音は出力し、低いレベルの入力音はカットします。
[**EFFECT FREQUENCY**] でスレッショルドレベルを変えられます。

拍ボタン（パラメーター 1）	リリースタイムを **1**～ **100** %の間で設定します。
TIME（パラメーター 2）	リリースタイムを設定します。 **1**～ **100** (%)
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	スレッショルドレベルを設定します。 右に回すほど効果が強調され、音声をカットします。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	スレッショルドレベルを各帯域で設定します。

SEND/RETURN[1]



お持ちの外部エフェクターなどを接続します。
[**EFFECT FREQUENCY**] をアイソレーターとして使えます。

拍ボタン（パラメーター 1）	–
TIME（パラメーター 2）	–
LEVEL/DEPTH（パラメーター 3）	[**RETURN**] 端子に入力される音声レベルを調整します。
EFFECT FREQUENCY（パラメーター 4）	**RETURN**音の音声出力レベルを各帯域で設定します。

[1] [**CH SELECT**] で「**A**」、「**B**」または「**M**」を選んでいるとき、モニターしたいチャンネルの音声が [**MASTER**] チャンネルに出力されていないと [**CUE**] (BEAT EFFECT) を押してもエフェクト音はモニターできません。

[2] BEAT EFFECTをオフにしているとき、[**CUE**] (BEAT EFFECT) を押してもエフェクト音はモニターできません。

設定を変更する

1 設定項目ボタン

1 [LIVE SAMPLER (UTILITY, WAKE UP)] を 1 秒以上押す

[**USER SETUP**] 画面が表示されます。
[**LIVE SAMPLER (UTILITY, WAKE UP)**] インジケーターが点滅します。

- [**CLUB SETUP**] 画面を表示するときは、いったん本機の電源をオフし [**LIVE SAMPLER (UTILITY, WAKE UP)**] を押しながら [**POWER**] を押します。

2 設定項目ボタンを押す

選択項目が表示されます。

3 設定項目を選ぶ

タッチパネルで選んで決定します。

4 項目の設定を変更する

タッチパネルで選んで決定します。

- [**CLUB SETUP**] 画面の変更内容を保存するときは [**SAVE**] を押します。

5 [EXIT] を押す

[**USER SETUP**] 画面を閉じます。

- [**CLUB SETUP**] 画面を閉じるときは、[**POWER**] を押して本機の電源をオフにします。

設定項目一覧

*斜体字*はお買い上げ時の設定です。

モード	設定項目	選択項目 1	選択項目 2	選択項目 3	説明
USER SETUP	MIDI	ZONE1[1]	BUTTON ACTION	*TOGGLE* / TRIGGER	MIDI 信号の送信の仕方を [**TOGGLE**] と [**TRIGGER**] から選びます。
			MIDI CHANNEL	*1*、2、～ 16	MIDI チャンネルを設定します。
		ZONE2[2]	BUTTON ACTION	TOGGLE / *TRIGGER*	MIDI 信号の送信の仕方を [**TOGGLE**] と [**TRIGGER**] から選びます。
			MIDI CHANNEL	1、*2*、～ 16	MIDI チャンネルを設定します。
			RESET	—	[**TYPE A**] ～ [**TYPE D**] の MIDI 設定を初期設定値に戻します。[**RESET**] は [**ZONE2**] 固有の機能です。
	FADER START	LINK	CH1～ CH4	ON、*OFF*	[**LINK**] 端子に接続されている DJ プレーヤーのフェーダースタート機能をオン /オフします。
		CONTROL	CH2、CH3	ON、*OFF*	[**CONTROL**] 端子に接続されている DJ プレーヤーのフェーダースタート機能をオン /オフします。
	LCD	BACK LIGHT	1、2、*3*、4、5	—	タッチパネル画面の明るさを調節します。
	VERSION No.	—	—	—	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。
CLUB SETUP	SYSTEM	DIGITAL OUT MAX LEVEL	*–19 dB*、–15 dB、–10 dB、–5 dB	—	[**DIGITAL OUT**] 端子から出力する最大音声レベルを調整します。
		DIGITAL SAMPLING RATE	48 kHz、*96 kHz*	—	デジタル信号のサンプリングレートを切り換えます。
		AUTO STANDBY	*ON*、OFF	—	オートスタンバイ機能をオン /オフします。
	MIC	OUTPUT TO BOOTH MONITOR	*ON*、OFF	—	[**BOOTH**] 端子からマイク音声を出力する /出力しないを設定します。
		TALK OVER THRESHOLD LEVEL	–25 dB、–20 dB、*–15 dB*、–10 dB	—	トークオーバーの感度を設定します。設定した音量以上の音声がマイクに入力されるとトークオーバー機能が働きます。
		TALK OVER LEVEL	–25 dB、*–20 dB*、–15 dB、–10 dB	—	トークオーバー機能が働いているとき、マイク音声以外の音声の減衰レベルを設定します。
	TOUCH PANEL	—	—	—	[+] を順番に押してタッチパネルのキャリブレーションを調整します。
	FACTORY RESET	YES、NO	—	—	すべての設定を初期設定値に戻します。

[1] 操作パネル上のボタン、[**FREQUENCY MIX**] および [**SIDECHAIN REMIX**] の MIDI 設定を変更します。
[2] MIDI コントロール画面の [**TYPE A**] ～ [**TYPE D**] の MIDI 設定を変更します。

オートスタンバイ機能について

[**AUTO STANDBY**] を [**ON**] に設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま 4 時間を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。

— 本機のボタンやツマミなどを操作していない。
— 本機の入力端子に **–10 dB**以上の音声信号が入力されない。
— PRO DJ LINK接続していない。

- [**LIVE SAMPLER (UTILITY, WAKE UP)**] を押すとスタンバイ状態が解除されます。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、25ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。
音が出ない、または音が小さい。	[**CD/DIGITAL**, **PHONO**, **LINE**, **USB */***] の位置が正しく設定されていますか？	[**CD/DIGITAL**, **PHONO**, **LINE**, **USB */***] でチャンネルの入力ソースを切り換えてください。（12ページ）
	本体背面部の [**CD**, **DIGITAL**] が正しく設定されていますか？	再生中の機器に合わせて [**CD**, **DIGITAL**] を切り換えてください。（12ページ）
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。（7ページ）
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	本体背面部の [**MASTER ATT.**] が [**–6 dB**] などに設定されていませんか？	[**MASTER ATT.**] を切り換えてください。（6ページ）
デジタル音声が出力できない。	デジタル音声出力のサンプリング周波数 (fs) が、接続機器の仕様と合っていますか？	[**CLUB SETUP**] 画面で [**DIGITAL SAMPLING RATE**] を接続機器の仕様に合わせて設定してください。（23ページ）
音が歪む。	マスターチャンネルから出力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	マスターチャンネルレベルインジケーターの [**0 dB**] 付近がピークレベルで点灯するように [**MASTER**] を調整してください。（12ページ）
		[**MASTER ATT.**] を [**–3 dB**] または [**–6 dB**] に設定してください。（6ページ）
	各チャンネルに入力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターの [**0 dB**] 付近がピークレベルで点灯するように [**TRIM**] を調整してください。（12ページ）
クロスフェードできない。	[**CROSS FADER ASSIGN**] が正しく設定されていますか？	チャンネルの [**CROSS FADER ASSIGN**] を正しく設定してください。（12ページ）
DJ プレーヤーのフェーダースタートができない。	[**FADER START**] がオフに設定されていませんか？	[**USER SETUP**] 画面で [**FADER START**] をオンに設定してください。（13ページ）
	[**CONTROL**] 端子と DJ プレーヤーが正しく接続されていますか？	[**CONTROL**] 端子と DJ プレーヤーをコントロールコードで接続してください。（7ページ）
	[**LINK**] 端子と DJ プレーヤーが正しく接続されていますか？	[**LINK**] 端子と DJ プレーヤーを LAN ケーブルを使って正しく接続してください。（7ページ）
	音声ケーブルが正しく接続されていますか？	本機の音声入力端子と DJ プレーヤーの音声出力端子を音声ケーブルで接続してください。（7ページ）
BEAT EFFECTが効かない。	[**CH SELECT**] が正しく設定されていますか？	[**CH SELECT**] を押してエフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。
[**INST FX**] が効かない。	[**FILTER**] を適切な位置に設定していますか？	[**FILTER**] を右に回してください。（15ページ）
外部エフェクターが効かない。	BEAT EFFECTの [**ON/OFF**] がオンに設定されていますか？	BEAT EFFECTの [**ON/OFF**] を押して [**SEND/RETURN**] をオンにしてください。（16ページ）
	[**SEND**] 端子および [**RETURN**] 端子に外部エフェクターが正しく接続されていますか？	[**SEND**] 端子および [**RETURN**] 端子に外部エフェクターを接続してください。（7ページ）
外部エフェクターの音が歪む。	外部エフェクターの音声出力レベルは適切に設定されていますか？	外部エフェクターの音声出力レベルを調整してください。
テンポ (**BPM**) が測定できない、またはテンポ (**BPM**) の測定値がおかしい。	音声入力レベルが高すぎませんか？　または音声入力レベルが低すぎませんか？	チャンネルレベルインジケーターの [**0 dB**] 付近がピークレベルで点灯するように [**TRIM**] を調整してください。（12ページ）
		曲によってはテンポ (**BPM**) が測定できない場合があります。[**TAP**] を使って手動でテンポを入力してください。（16ページ）
測定したテンポ (**BPM**) の値が CD の記載値と異なる。	ー	**BPM**の測定法が違うため、多少異なった値を示すことがあります。処置は不要です。
MIDI シーケンサーが同期しない。	MIDI シーケンサーのシンクモードはスレーブに設定されていますか？	MIDI シーケンサーのシンクモードをスレーブに設定してください。
	お使いの MIDI シーケンサーは MIDI タイミングクロックに対応していますか？	MIDI タイミングクロックに対応していない MIDI シーケンサーは同期できません。
MIDI コントロールできない。	MIDI がオンになっていますか？	[**MIDI**] の [**ON/OFF**] を押してください。（16ページ）
	MIDI 設定が正しく設定されていますか？	本機で DJ ソフトウェアを操作するときは、本機の MIDI メッセージをお使いの DJ ソフトウェアにアサインする必要があります。アサイン方法については、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
コンピュータに接続しても本機が認識されない。	コンピュータにドライバソフトウェアが正しくインストールされていますか？	ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済みのときは、再度インストールをしてください。（8ページ）
コンピュータの音声が本機から出力されない。	本機とコンピュータが正しく接続されていますか？	USB ケーブルを使って本機とコンピュータを接続してください。（8ページ）
	音声出力デバイス設定が正しく設定されていますか？	音声出力デバイス設定で本機を選んでください。お使いのアプリケーションの設定方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
	本機の入力切換スイッチが正しく設定されていますか？	チャンネルの入力切換スイッチを [**USB */***] の位置に設定してください。（12ページ）
タッチパネルを押しても反応しない。	タッチパネルのキャリブレーション調整がずれている。	[**CLUB SETUP**] 画面の [**TOUCH PANEL**] 設定でタッチパネルを調整してください。（23ページ）
BEAT EFFECTの [**CUE**] を押してもエフェクト音がモニターできない。	ー	[**ECHO**]、[**REVERB**]、[**ROLL**]、[**SLIP ROLL**]、および [**REV ROLL**] のエコー音を発生する回路はエフェクト回路より後ろに配置されているため、エフェクト音はモニターできません。故障ではありません。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点 (輝点) が現れることがあります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所でお使いになるときは、本機の電源をオンにしたあとしばらく液晶画面が暗いことがあります。時間が経つと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

- 本機を改造して使用した場合
- 不正使用や使用上の誤りの場合
- 他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失 (逸失利益) は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 24ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ ミキサー
- 型番：DJM-2000
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標 (建物、公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

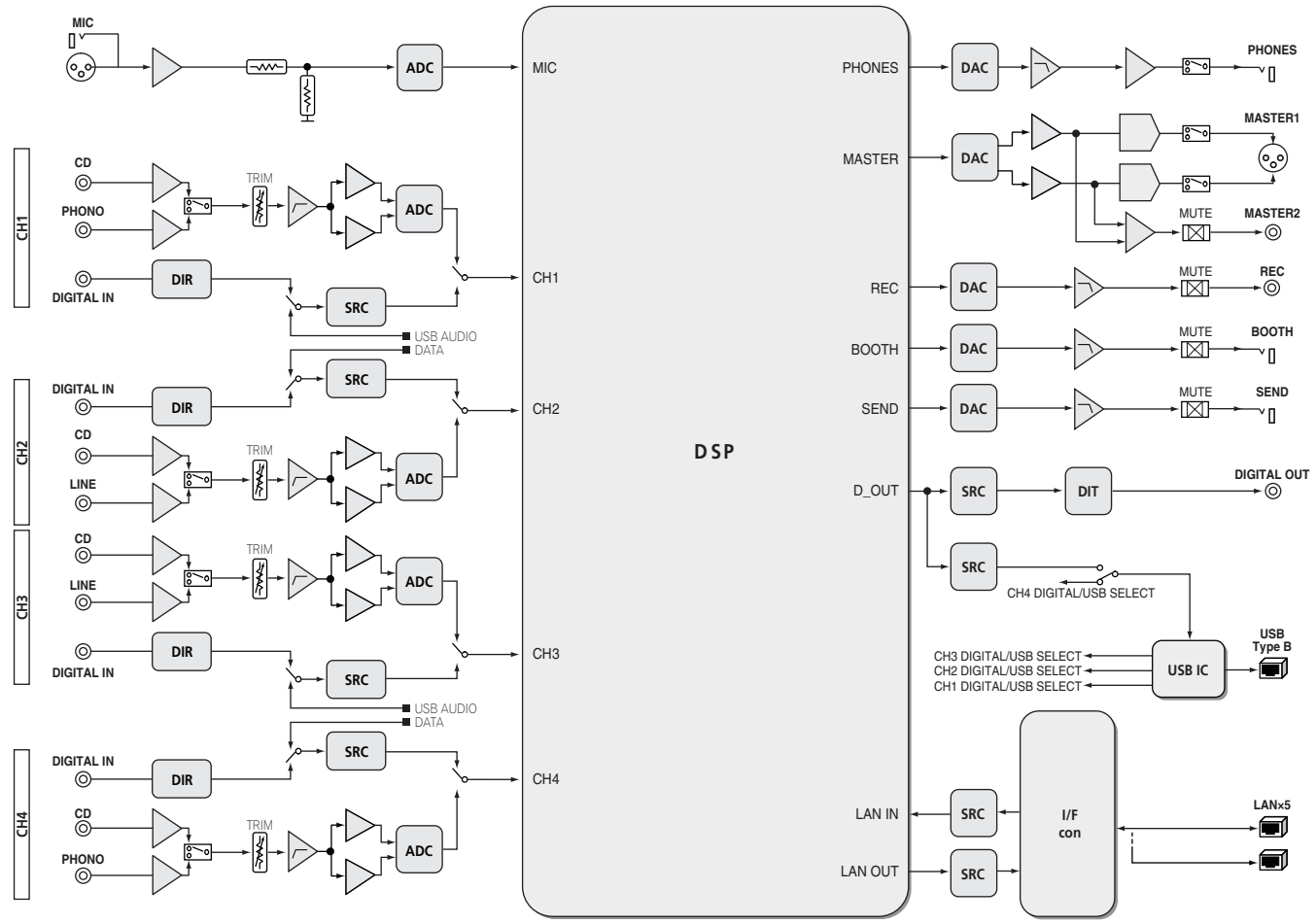
保証期間を過ぎているときは

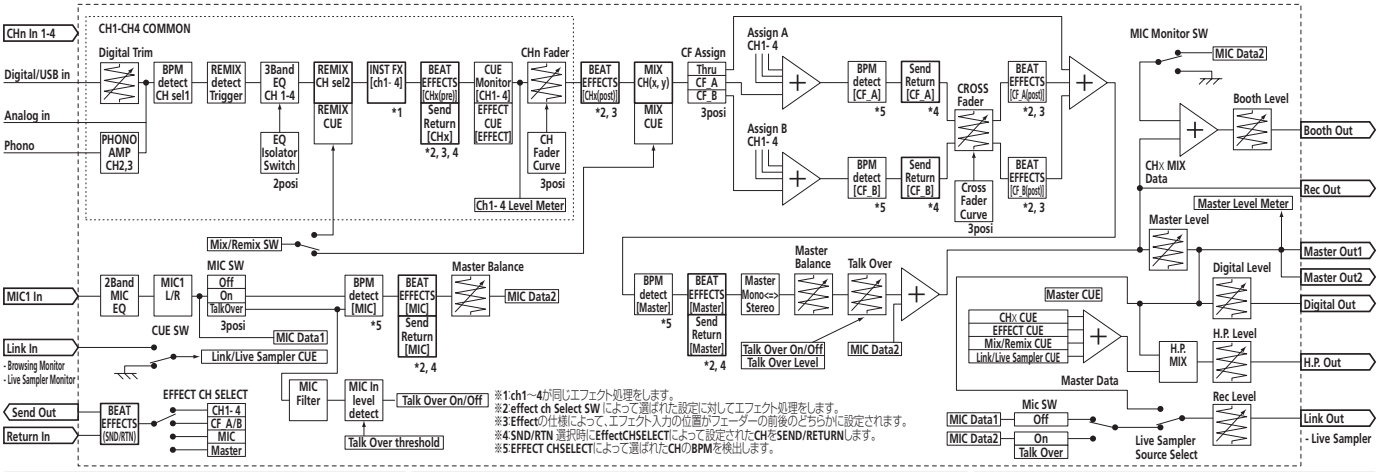
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

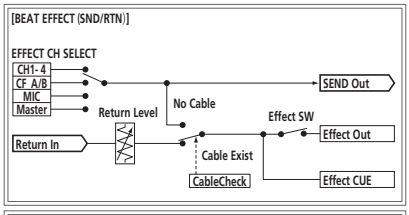
免責事項について

- Pioneerはパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は米国 Intel Corporationの登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

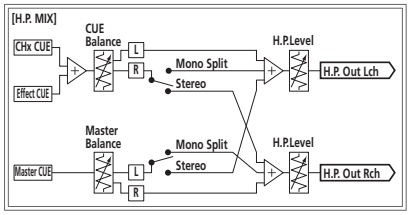
ブロックダイヤグラム

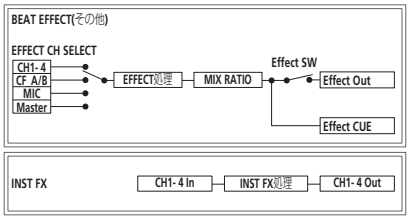

MIC
ADC
CD
PHONO
DIGITAL IN
TRIM
DIR
SRC
USB AUDIO DATA
LINE
CH1
CH2
CH3
CH4
DSP
PHONES
MASTER
REC
BOOTH
SEND
D_OUT
LAN IN
LAN OUT
DAC
MUTE
MASTER1
MASTER2
DIT
DIGITAL OUT
CH4 DIGITAL/USB SELECT
CH3 DIGITAL/USB SELECT
CH2 DIGITAL/USB SELECT
CH1 DIGITAL/USB SELECT
USB IC
USB Type B
I/F con
LAN×5

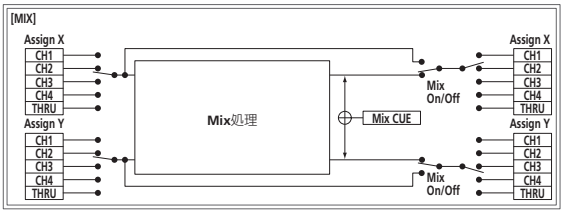

CHn In 1-4
CH1-CH4 COMMON
Digital Trim
Digital/USB in
Analog in
Phono
PHONO AMP CH2,3
BPM detect CH sel1
REMIX detect Trigger
3Band EQ CH 1-4
EQ Isolator Switch
2posi
REMIX CH sel2
REMIX CUE
INST FX [ch1- 4]
*1
BEAT EFFECTS [CHx(pre)] Send Return [CHx]
*2, 3, 4
CUE Monitor [CH1- 4] EFFECT CUE [EFFECT]
CHn Fader
CH Fader Curve
3posi
Ch1- 4 Level Meter
BEAT EFFECTS [CHx(post)]
*2, 3
MIX CH(x, y)
MIX CUE
CF Assign
Thru
CF_A
CF_B
3posi
Assign A CH1- 4
Assign B CH1- 4
BPM detect [CF_A]
*5
Send Return [CF_A]
*4
BPM detect [CF_B]
*5
Send Return [CF_B]
*4
CROSS Fader
Cross Fader Curve
3posi
BEAT EFFECTS [CF_A(post)]
*2, 3
BEAT EFFECTS [CF_B(post)]
*2, 3
MIC Monitor SW
MIC Data2
Booth Level
Booth Out
CHx MIX Data
Rec Out
Master Level Meter
Master Level
Master Out1
Master Out2
Digital Level
Digital Out
Master CUE
CHx CUE
EFFECT CUE
Mix/Remix CUE
Link/Live Sampler CUE
H.P. MIX
H.P. Level
H.P. Out
Master Data
Rec Level
Link Out
- Live Sampler
Live Sampler Source Select
Mix/Remix SW
MIC SW
Off
On
TalkOver
3posi
MIC1 In
2Band MIC EQ
MIC1 L/R
CUE SW
MIC Data1
Link In
- Browsing Monitor
- Live Sampler Monitor
Link/Live Sampler CUE
BPM detect [MIC]
*5
BEAT EFFECTS [MIC] Send Return [MIC]
*2, 4
Master Balance
MIC Data2
MIC Filter
MIC In level detect
Talk Over On/Off
Talk Over threshold
Send Out
Return In
BEAT EFFECTS [SND/RTN]
EFFECT CH SELECT
CH1- 4
CF_A/B
MIC
Master
BPM detect [Master]
*5
BEAT EFFECTS [Master] Send Return [Master]
*2, 4
Master Mono<=> Stereo
Talk Over
Talk Over On/Off
Talk Over Level
Mic SW
Off
On
Talk Over
※1:ch1~4が同じエフェクト処理をします。
※2:effect ch Select SWによって選ばれた設定に対してエフェクト処理をします。
※3:Effectの仕様によって、エフェクト入力の位置がフェーダーの前後のどちらかに設定されます。
※4:SND/RTN 選択時にEffectCHSELECTによって設定されたCHをSEND/RETURNします。
※5:EFFECT CHSELECTによって選ばれたCHのBPMを検出します。


[BEAT EFFECT (SND/RTN)]
EFFECT CH SELECT
CH1- 4
CF_A/B
MIC
Master
SEND Out
No Cable
Return Level
Return In
Effect SW
Effect Out
Cable Exist
CableCheck
Effect CUE

[REMIX]
Trigger CH SELECT
SAME
CH1
CH2
CH3
CH4
Remix処理
Remix CUE
Remix On/Off
Remix Effect CH
Remix Effect CH


[H.P. MIX]
CHx CUE
Effect CUE
CUE Balance
L
R
Mono Split
Stereo
H.P.Level
H.P. Out Lch
Master Balance
Master CUE
H.P. Out Rch


BEAT EFFECT(その他)
EFFECT CH SELECT
CH1- 4
CF_A/B
MIC
Master
EFFECT処理
MIX RATIO
Effect SW
Effect Out
Effect CUE
INST FX
CH1- 4 In
INST FX処理
CH1- 4 Out


[MIX]
Assign X
CH1
CH2
CH3
CH4
THRU
Assign Y
Mix処理
Mix CUE
Mix On/Off

仕様

一般

電源 ..... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 ..... 40 W
待機時消費電力 ..... 0.4 W
本体質量 ..... 8.5 kg
外形寸法 ..... 430 mm（幅）x 107.9 mm（高さ）x 409 mm（奥行）
許容動作温度 ..... + 5 ° C ～+ 35 ° C
許容動作湿度 ..... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

オーディオ部

サンプリングレート ..... 96 kHz
A/D, D/A コンバーター ..... 24 bits
周波数特性
　CD/LINE/MIC ..... 20 Hz ～ 20 kHz
S/N 比 (定格出力時)
　PHONO ..... 93 dB
　CD/DIGITAL, LINE ..... 107 dB
　MIC ..... 85 dB
全高調波歪率 (**LINE** — **MASTER1**) ..... 0.004 %
基準入力レベル /入力インピーダンス
　PHONO ..... − 52 dBu/47 kΩ
　CD/LINE ..... -12 dBu/47 kΩ
　MIC ..... -52 dBu/8 kΩ
　RETURN ..... − 12 dBu/47 kΩ
基準出力レベル /負荷インピーダンス /出力インピーダンス
　MASTER1 ..... +8 dBu/10 kΩ/1 Ω以下
　MASTER2 ..... +2 dBu/10 kΩ/22 Ω以下
　REC OUT ..... -8 dBu/10 kΩ/22 Ω以下
　BOOTH ..... +8 dBu/10 kΩ/1 kΩ以下
　SEND ..... − 12 dBu/10kΩ/1 kΩ以下
　PHONES ..... +8.5 dBu/32 Ω/1 Ω以下
定格出力レベル /負荷インピーダンス
　MASTER1 ..... + 26 dBu/10 kΩ
　MASTER2 ..... +20 dBu/10 kΩ
クロストーク (**LINE**) ..... 82 dB
チャンネルイコライザー特性
　HI ..... − 26 dB ～+ 6 dB (13 kHz)
　MID ..... − 26 dB ～+ 6 dB (1 kHz)
　LOW ..... − 26 dB ～+ 6 dB (70 Hz)
マイクイコライザー特性
　HI ..... − 12 dB ～+ 12 dB (10 kHz)
　LOW ..... − 12 dB ～+ 12 dB (100 Hz)

入力 /出力端子

PHONO入力端子
　RCA ピンジャック 2
CD入力端子
　RCA ピンジャック 4
LINE入力端子
　RCA ピンジャック 2
MIC入力端子
　XLR コネクター /フォーンジャック (Ø 6.3 mm) 1
RETURN入力端子
　フォーンジャック (Ø 6.3 mm) 1
DIGITAL IN同軸入力端子
　RCA ピンジャック 4
MASTER出力端子
　XLR コネクター 1
　RCA ピンジャック 1
BOOTH出力端子
　フォーンジャック (Ø 6.3 mm) 1
REC OUT出力端子
　RCA ピンジャック 1
SEND出力端子
　フォーンジャック (Ø 6.3 mm) 1
DIGITAL OUT同軸出力端子
　RCA ピンジャック 1
MIDI OUT端子
　5P DIN 1
PHONES出力端子
　ステレオフォーンジャック (Ø 6.3 mm) 1
USB端子
　B タイプ 1
CONTROL端子
　ミニフォーンジャック (Ø 3.5 mm) 2
LINK端子
　LAN 端子 (100Base-TX) 6

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　一般電話　044−572−8102

■ファックス　044−572−8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（ゴーハ゛イオニア）　一般電話　044−572−8100

■ファックス　フリーコール 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120

■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81095　一般電話　044−572−8107

■ファックス　フリーコール 0120−5−81096

平成22年11月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.042

© 2010 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1432-D>